



国際会長 (IP) Wichian Boonmapajorn (タイ)

“Mission with Faith”

「信念のあるミッション」

アジア地域会長 (AP) Edward K.W. Ong (シンガポール)

“Through Love, Serve”

「愛をもって奉仕をしよう」

東日本区理事 (RD) 渡辺 隆 (甲府)

「原点に立って、未来へステップ」

“Stand at the origin and take a step for the future”

湘南・沖縄部部長 (DG) 今城 高之 (横浜つづきワイズメン&ウイメンズ)

「一人ひとりが愛と平和の種をまこう」

横浜クラブ会長 (CP) 金子 功

「クラブの伝統に誇りを、明日に自信を」

“Pride and confidence for the future”

会長 金子 功
副会長 高杉 治興
書記 伊藤 誠彦
会計 古田 和彦
直前会長 天野 皓司

監事 舟田 正夫
ブリテン 高田 一彦
担当主事 青木 一弘

＜今月の聖句＞

今村 讀

(文語訳)

神を愛する者、すなはち御旨によりて召されたる者の為には、凡てのこと相働きて益となるを我らは知る。
ロマ書8章28節

(新共同訳)

神を愛する者たち、つまり、ご計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということ、わたしたちは知っています。
ローマの信徒への手紙 8章28節

と抗議したが副会長をやった次の年には会長をやることに決まっている、とのことでやむを得ず引き受けた。

記念行事として何をやるか種々討議したが、記念祝典は極く簡素なものとし、元とつかクラブの会員であった吉田ワイズが自分の事業を整理して献身的に従事している「バンコクにエイズ孤児ケアセンターをつくるプロジェクト」の支援に全力を上げることとし、全国のクラブにも協賛を呼びかけたが当クラブの姿勢が評価されたためか予想以上の成果を上げることが出来た。エイズ孤児の支援については、その後タイ政府がその必要を感じ政府事業として軌道に乗ったやに聞いているが、その火をつけることができたことを誇らしく思っている。

別件ながら現在、次期会長をどうするか金子会長が苦心しておられるようですが、会員の支援があれば、またやる気があれば、私同様、入会間もない方でも十分やれると思うので、協力するようよろしくお願いします。

なお私が会長のころは、卓話は必ずしも毎回はやっていなかったが毎回やるのであれば会長独力でやるのは大変だと思うので、皆さんの支援が必要だと思うので、この点について皆さんの知恵をお借りしたい。

今月のひとこと

私の「ワイズ事始め」

神村 浩正



私がワイズに入会したのは97年10月、当時の今村会長から熱心なお誘いがあり「まあ、覗いてみるか」と例会を覗いてみたところ、極めてフランクな雰囲気なのに感心して即時入会を決断した。翌98年には会計を担当。99年には副会長をやれとのこと。「副会長ならやれるか」と思って引き受けたのはほとんど間違いであった。翌00年は当クラブの創立70周年に当たる年だが会長をやれとのこと。「こんな大事な時にとってもやれませんよ」

＜2016年3月例会実績＞

在籍者	出席者	出席率	B F
20名	メン 14名	74 %	今月分
(功労)	メネット 1名	(メーキャップ	切手 0g
会員1	コメント 0名	名を含む)	現金 0円
名を含ま	ビジター 0名		年度累計
む)	ゲスト 1名	前月修正出席	切手 0g
	合計 15名	率	現金 0円

<4月の行事予定>

Leadership Training

日	曜	時間	行事内容	場所
14	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央Y
23	土	15:00	湘南・沖縄部 第4回部役員会	中央Y
28	木	17:00	横浜クラブ第二例会	中央Y

<3月例会報告>

成瀬 澤史

日時：3月10日(木)18:30~20:30

場所：横浜中央YMCA 501号室

出席者：青木、今村、大江、大高、金子、神村、林、古賀、齋藤、高田、田口、成瀬、舟田、古田、松島

ゲスト：野村元担当主事

今村ワイズの司会により定刻18:30分に開会され、金子会長の開会点鐘、挨拶となり、最初に2月24日に開催された第3回日本語スピーチコンテストが無事、成功裡に終わった礼を述べた。そして、本日3月10日はご自身の誕生日、東京大空襲があった日であり、明日3月11日は東日本大震災が起こった日となり、複雑な気持ちで迎えます。震災から5年が経ち、震災への関心はともすれば薄れがちになるが忘れないようにしていきたいものだと言われた。ゲストで来られた元担当主事の野村さんの紹介があり、ワイズソングの斉唱、ワイズの信条を唱和し、松島ワイズが今月の聖句の朗読をされ、イエスが十字架に磔にされ3日後によみがえり、それを祝うのが3月27日の復活祭であると話された。

続いてスピーチコンテストのスライドを見つつ感想を述べながらの会食となった。手術後が心配された天野ワイズから「順調に回復し、普段の日常生活を取り戻しつつあるが、今暫くは静養しなければならない。皆さんによるしく」との伝言が成瀬ワイズから披露された。



卓話する齋藤ワイズ

食事の後は、昨年の7月、熊本スピリッツクラブから転入会した齋藤ワイズによる卓話となった。平塚で育ち東京大学法学部を卒業後10年に司法試験に合格し、熊本で弁護士研修を経て、15年に横浜で法律事務所を開業したとの略歴が紹介された。

趣味は、車で全国の国道を走破したり、地図とコンパスを使い目標地点に如何に速く到達するかを競うユニークな趣味をお持ちでした。仕事は、国選刑事弁護、離婚、相続、債権回収、債務整理と多方面に亘っており、100万人をすくうような事件で裁判に勝利する夢を抱いているとの事で、高い志を持っていると感心します。国選弁護人に関して、死刑に対しての考え、町内会自治会の役員になった場合、個人情報保護との兼ね合いがある壁をどのように乗り越えたらよいかの助言、訴訟国家であるアメリカの実状等活発な質問にも分かり易く的確に答えて頂きました。同僚の弁護士もワイズメンズクラブにお誘いしたらとの発言も飛び出しましたが、会員増強の役員になり人脈を活かしてもらえたらと思います。

次にビジネスに移り、金子会長より今後の予定、横浜クラブの次期役員選出等の報告があり、閉会。ロハ献金は15,000円でした。

「次期クラブ会長・部役員研修会報告」

金子 功

去る3月5日(土)~6日(日)、次年度クラブ会長並びに部役員の1泊研修会が日本YMCA同盟国際青少年センター・東山荘で行われ、次期も会長をお引き受けした私が参加した。この研修会にはすでに何度か参加しているが、都度、東日本区の現状、並びに、新しい理事の方針を理解する良い機会になっている。

現状を報告した渡辺隆理事は、現在の東日本区の会員数は920名で、当初掲げた目標数1,246名(東日本区発足時)には遠く及ばないとして更なる会員増強努力を強調した。それに呼応して、利根川恵子次期理事は、重点目標の第1にクラブ拡張と会員増強を掲げた。次期理事は、各クラブで退会者ゼロ、増員2名を目指そうと具体的な数値を示している。東日本区で会員1,000名を切ると運営上財政面でも問題が出てくると言う。

基調講演では、「これからのワイズ、YMCAにとってのワイズ」と題して元アジア太平洋YMCA同盟総主事の山田公平さんより、ワイズメンとしての自覚を問う大変示唆に富んだ話を聞かせてもらった。

1泊研修のもう一つの狙いは、夕食後に各部に別れ、次期部長を囲んで気楽に来年度の事業方針等について話し合う場の設定である。湘南・沖縄部では、今回の会長出席クラブは4クラブのみでその目的を達成するには疑問が残った。

研修会閉会式に先立って監事の講評があったが「次期クラブ会長の出席率65%、(39/60クラブ)、部役員の出席率59%(29/49)は残念な数字だ。役員はもっと自覚と責任をもって参加すべきだ。」との厳しいコメントがあった。

この研修会はLT委員会が主体となって企画運営したもので、事前にワークブックとクラブ運営マニュアルが配布され万全の準備がなされていた。伊藤幾夫LT委員長他委員のみなさまに感謝を以って大きな拍手を送りたい。

<台湾YMCA訪問の旅>

伊藤 誠彦

3月10日~14日、金沢八景クラブの台湾訪問旅行に伴って、台湾各地のYMCAを訪問してきました。

八景クラブではここ7~8年、横浜YMCAの国際交流プログラムの一つである台湾インターナショナル・キャンプ・カウンセラー・プログラム(ICCIP)に協力する形でYMCA三浦ふれあいの村や富士山Yでのキャンプに参加する学生達のホームステイを引き受けておられます。

今回の台湾訪問は元八景クラブ担当主事で、三浦ふれあいの村森田館長のお取り計らいにより実現したもののようです。隣町のよしみもあり一昨年から拙宅もホームステイに協力させていただいていることもあって、峯尾夫妻、山田夫妻に誘っていただき、3組6人で、台湾各地のYMCA(台中Y→台南Y→台北Y)を歴訪してきました。

現地では横浜Yから台北Yへ出向中の野田知裕さん(青木担当主事の後任)が全日程にわたり付き添ってくださり、新

幹線とチャータされたマイクロバスで移動。極めて段取り良く快適な旅を楽しむことができました。田口総主事が予め台湾のYMCAに声をかけておいて下さっていたこともあり、各地で大歓迎を受けました。

ICCP国際交流を中心になって進めている台中YMCAではワイズメン(台中に9クラブ、総勢270人の大所帯)、



台中YでICCPの学生達と再会、右端は野田さん

大勢のICCP参加者たちからの歓迎を受けました。そして、沢山の土産

の品、この歓迎は台南でも台北でも同様でした。

台南Yでは台湾南部地震(16年2月6日)のお見舞いとして、金沢八景クラブと横浜YMCAからのお見舞金が山田ワイズから手渡されました。

私は台湾訪問は12~13年振りでしたが、当時と比べてオートバイの数が激減していた(当時は2~3人が相乗りした小さなバイクが街中にあふれていました)ことと、台北の空気が綺麗になっていたこと、若者がはつらつとしていたことが印象に残りました。

日本人に対する台湾老若男女のフレンドリーさは相変わらずでした。このような良好な関係も、一人ひとりの草の根の交流がより強固にしていくものと改めて感じました。

「留学生と共に鎌倉案内をしてもらおう」

舟田 正夫



3月23日に外国人留学生4人とシニアボランティア経験を活かす会の会員(SV会会員)4人がペアを組み鎌倉市立御成中学校の2年生に鎌倉案内をもらった。案内と言っても外での案内ではなく教室内での鎌倉案内で、使用言語は英語のみでした。まずは留学生が自国の話を英語で15分間、その後25分間位で1クラス30名の生徒が6班に分かれ鎌倉のいろんなところの案内を英語で行い、最後に5分間で留学生とSV会会員が英語で合同評価をするという内容でした。

この試みは非常に斬新なもので若い英語担当の教師の発想に基づいております。今迄は東京の杉並区立の小学校で小学生を対象に留学生による日本語での自国紹介を何回かやっておりますが、全部を英語で説明し、質疑応答も英語と言うのは今回が初めての経験でした。

Kamakura One-day Tour との共通表題のもと、例えばある班では Enjoy Crane Tour, Traditional Tour, Enoden Tour, Old Kamakura Tour, Kamakura Nature Tour, Exciting!! Kamakura Tour と言った Tour を提供しています。生徒は来年の京都への修学旅行の際に、京都へ来ている外国人旅行者に対して、鎌倉へ是非来てくださーいとの宣伝にも使うよう

に聞いております。その考えが上手く成功につながるように祈っております。

今回は若い人達の積極的な取り組み姿勢を見て、将来に希望を持ちました。良い経験をさせていただきました。

「絆」・台北YMCAスタッフ研修団来浜

青木 一弘

2月23日~28日の日程で、台北YMCAから職員研修団が来浜し、期間中活動を共にしました。この研修では、横浜YMCAのベビースイミングや介護予防のプログラムを中心とした健康教育事業の研修を目的に、台北YMCAの各ブランチから館長及びウエルネス・スタッフ(主任、専任講師)10名が訪問しました。横浜では13年3月にも9人の管理職の研修を受け入れましたが、今回は、指導スタッフの研修依頼を受け実施が決まり、中央YMCA及び健康教育事業が中心となって研修を実施しました。

11年3月11日、大震災における津波や原発事故により東日本では大きな損害が生じました。当時、私は台湾に在任しており、その様子を現地のニュースから状況を見守っていましたが、すぐに台湾全土で日本への義捐金の呼びかけがなされ、台湾からは200億円を超える世界最多の義捐金が寄せられました。(台湾の人口が2300万人位であるのに200億円の義援金が集まったのですから、台湾人の日本への想いがどれほど凄いのかが伺えました。)今なお、台湾では「日本加油」(日本がんばれ)という声が上がっており、「困ったときに助け合える日本と台湾の関係を、子どもたちにつなげていきたい」と話している方が多数いるようです。

震災をきっかけに、更に台湾と日本の双方の官、民が、それぞれのレベルで繋がりを強固にし、「絆」イニシアチブと称された、日本と台湾の新たな時代を切り開く様々な動きが始動され、これにより日台双方の多くの人々が明確に同じ方



向を向いています。横浜と台北YMCAの活動に於いても双方が繋がりが、新たな活動が開かれてい

くことを期待しています。

第二例会報告

高田 一彦

日時: 2016年3月24日17:00~20:00

場所: 中央YMCA 501号室

参加者: 青木、伊藤、金子、齋藤、高田、古田、

(Yスタッフ; 平岡、川本)

協議・確認事項

- 1) 行事予定の確認
- 2) 第3回日本語スピーチコンテストの報告及び評価
平岡さんより報告があり、全体に高評価が得られ、来年度も是非継続して行きたいので宜しくとの事。

(総合評価：90点)

- 3) 5月6日～7日の一泊例会について
場所：上郷森の家、テーマ：「ワイズの真髄は？」
講師：高田ワイズ
- 4) 野村さんの再入会について
前会出席のYMCAを退職された元担当主事の野村さんが、横浜クラブへの入会を表明されたので、7月に入会式を行う予定。
- 5) 横浜クラブの次期役員について
会長、書記、会計は留任。副会長：舟田ワイズ、監事：松島ワイズ、地域奉仕：大高ワイズ、国際交流：古賀ワイズ、会員増強：遠藤ワイズ、ユース：(未定)、ブリテン：高田ワイズ
- 6) 16～17年度ロースター原稿が来ているのでチェックを(伊藤書記)
- 7) 中央Yのキックオフ・ミーティング
4月2日に開催される、中央YMCAの新年度キックオフミーティングは、中央Yのスタッフが全員集まるので、中央Yのプログラム紹介や交流を深めるためにワイズも参加しようとの呼び掛け(伊藤書記より案内を)
- 8) 今後の卓話予定
4月：「作業療法科」について：生井YMCA学院校長
6月：大高ワイズ、9月：古賀ワイズ
- 9) 4月号ブリテン掲載記事の確認



担当主事 青木 一弘

●横浜YMCA 3. 11を忘れない活動報告

県内36カ所のYMCA活動拠点で、3. 11東日本大震災を忘れない活動、取り組みが行われました。また、被災地での復興の献堂式に参加したり、台南地震への募金を現地で贈呈しました。これからは横浜YMCAでは、東日本大震災被災地、被災者のための支援活動を継続していきます。皆様のご支援をよろしくお願ひします。

●PINK SHIRT DAY 2016. 2. 24の報告

2月24日(水) 横浜YMCAは全てのYMCAでピンクシャツデーに取り組みました。

多くの子もたちが「人の気持ち」を考えるきっかけになり、大人たちはこれからの社会を変えていくために…「いじめ撲滅」までの道のりは簡単ではないのかもしれませんが。しかし社会全体がいじめに対して高い意識を持ち、いじめの被害者と加害者以外の立場にいる人が「傍観者」とならないことが、いじめられている子どもを救うことになる。

・・・と私たちは考えます。2月24日(水)に横浜YMCAの各ブランチではピンクのシャツや小物を身に付けて「いじめのない世界をつくろう」と訴えました。多くの皆さんが「いじめ」について考え、自分のこととして考えた1日になりました。

●中央YMCAキックオフミーティング

日時：4月2日(土) 18:30～20:15

場所：中央YMCA 8階ラウンジ
出席者：青木、伊藤メン・メネ、高田、松島



54名が参加をした。

中央YMCA運営委員会の高田委員長による開会挨拶と食前の祈禱に続き、軽食を取りながら歓談のひと時を持った。その後、北田館長による、次年度の方針・計画の説明がなされ日常の課題や地域の課題・ニーズ等を踏まえ、各部の施策や方向性を明確にし、それを共有しながら、館全体が一丸となって目標の実現に取り組むための説明がなされた。また、委員及びスタッフの紹介もなされ、この4月に入職した新職員からは、若者らしい力強さ、新鮮な雰囲気、強い決意などが感じられる挨拶が述べられた。

去る4月2日(土)中央YMCAキックオフミーティングが開催され、職員並びに、運営委員、ワイズメンズクラブメンバ

4月例会プログラム

日時：4月14日(木) 18:30～20:30

場所：横浜中央YMCA 501号室

司会：舟田ワイズ

- 1. 開会点鐘および挨拶 金子 会長
- 2. ワイズソング・ワイズの信条 全員
- 3. 今月の聖句 今村ワイズ
- 4. ゲスト・ビジター紹介 金子 会長
- 5. 食前感謝 今村ワイズ
- 6. 食事
- 7. 卓話 「作業療法YMCAがめざすもの」
生井知三 横浜YMCA学院専門学校校長
- 8. ビジネス・報告 金子 会長
- 9. Happy Birthday : 大江なおみ(2)
- 10. 閉会点鐘 金子 会長

例会報告：今村ワイズ

5月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
6-7	金土	15:00	横浜クラブ一泊例会	上郷森の家
26	木	17:00	横浜クラブ第2例会	中央Y
28	土	18:00	横浜YMCA会員総会	とつかY

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは横浜YMCA青木一弘にご連絡下さい。

メール aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org

電話 045-641-5785